

<2022 年の復興米栽培の様子>

復興米の田植え

ほっとすぺーす富田林・喜志っ子クラブ：令和4年5月29日（喜志町）

喜志小学校：令和4年6月1日（喜志町）

東条小学校：令和4年6月3日（龍泉）





「奇跡の稲田を」の稲田には
 命を捧げる稲穂を育てました
 数えて九十九の稲穂を、おまじないの
 小豆大粒の稲穂を、おまじないの
 赤い大粒の稲穂を、おまじないの
 赤い大粒の稲穂を、おまじないの
 赤い大粒の稲穂を、おまじないの
 赤い大粒の稲穂を、おまじないの
 赤い大粒の稲穂を、おまじないの

五月十日 奇跡の稲田を
 おまじないの稲穂を
 赤い大粒の稲穂を

奇跡の稲田を
 おまじないの稲穂を
 赤い大粒の稲穂を

五月十日 奇跡の稲田を
 おまじないの稲穂を
 赤い大粒の稲穂を

奇跡の稲田を
 おまじないの稲穂を
 赤い大粒の稲穂を

奇跡の復興米「田植え」によせて

今年も春の田植えの季節となりました。数えて九年目の田植え、おめでとうございます。私共、大槌町民もこの三月には東日本大震災から十一年となりましたが、何か遠い日の出来ごとの様に思い出したり、また、その様をくつきり

思い出したり、これはやはり「千年ひと昔」の言葉のゆえんなのだと思ったりしています。また、内外に目を転じれば、人的な悲惨な問題に心が痛みます。

富田林市の児童生徒の皆さんはこの美しい自然の中、ご指導して下さい。皆様元、日本の主食である「米文化」を体験し、そして「奇跡の復興米」のルーツを正しく学んでいただけたら幸いです。

また過日、J A大阪南栽培委員会様より「奇跡の復興米」栽培経過、取り組み報告等の資料を送っていただき、改めて身の引き締まる思いで拝読いたしました。

余談になりますが五月の桜の満開の日、津波後私が3株の瘦せた稲を発見した生地の場所を訪ねると

ウグイスが天高く「ホーホケキョ」と鳴いてくれました。小さな小さなひとときですが、いやされました。

終わりに、秋の豊作と合わせて、内外の平和を祈り、ご挨拶いたします。

二〇二二年 春の日に

岩手県大槌町

菊池 妙

(大槌復興米)

復興米の稲刈り

ほっとすパーす富田林・喜志っ子クラブ：令和4年9月11日（喜志町）

喜志小学校：令和4年9月12日（喜志町）

東条小学校：令和4年9月30日（龍泉）







